

# 陸連時報 三

2017  
平成29年 12 月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

## 目 次

2018年度 主要競技会日程(案).....	198
理事会報告.....	199
強化関連情報(ジャカルタ2018アジア競技大会トラック・フィールド種目代表選手選考要項).....	201
「体育の日」スポーツ祭り2017報告.....	204
Great North City Games 視察報告(施設用器具委員会委員長 高木良郎).....	205
第22回JAAF コーチング・クリニック.....	206
2018 X-RUN CHIBAクロスカントリー大会要項.....	207
オトナのタイムトライアルin代々木公園.....	208
大会観戦ガイド.....	210
陸協NEWS.....	212
事務局からのお知らせ.....	214

## 公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わさせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

# 2018年度 主要競技会日程(案)

※主要競技会日程は、2018年3月の理事会で最終承認されます。

主催・共催競技会				主要競技会			国際競技会					
期日	競技会名	場所	期日	競技会名	場所	期日	競技会名	場所				
4月	15(日)	102 日本選手権50km競歩	石川	7(土)	★ GP 金栗記念選抜中・長距離	県民総合(熊本)						
	15(日)	20 長野マラソン	長野	21(土)~22(日)	★ GP 出雲陸上	県立浜山公園(島根)						
5月	20(日)	ゴールデングランプリ	ヤンマースタジアム長居(大阪)	21(土)~22(日)	★ GPP TOKYO Combined Events	駒沢(東京)						
				22(日)	★ GPP 兵庫リレーカーニバル	ユニバー記念(兵庫)						
				22(日)	★ 8 ぎふ清流ハーフマラソン	岐阜						
				29(日・祝)	★ GPP 織田記念陸上	広域公園(広島)						
6月	16(土)~17(日)	64 全日本中学通信陸上	各地	3(日)	★ GP 静岡国際陸上	エコパ(静岡)	5(土)~6(日)	28 世界競歩チーム選手権	太倉(中国)			
				102 日本陸上競技選手権混成	長野市営(長野)	5(土・祝)	★ GP 水戸招待陸上	Kスタ水戸(茨城)	調整中	アジアグランプリ	調整中	
				16(土)~17(日)	34 U20日本選手権混成	長野市営(長野)	5(土・祝)	★ GP ゴールデンゲームズinのべおか				延岡(宮崎)
22(金)~24(日)	102 日本陸上競技選手権	維新百年記念(山口)	6(日)	★ GP 本南道孝記念	ヤンマースタジアム長居(大阪)							
7月	16(土)~17(日)	64 全日本中学通信陸上	各地	13(日)	★ 28 仙台国際ハーフマラソン	宮城						
				16(土)~17(日)	102 日本陸上競技選手権混成	長野市営(長野)	3(日)	★ GP 布勢スプリント	布勢総合(鳥取)	7(木)~10(日)	18 アジアジュニア選手権	岐阜(岐阜)
8月	18(土)	34 全国小学生陸上	日産スタジアム(神奈川県)	15(金)~17(日)	○ '18 日本学生個人	Shonan BMW スタジアム(神奈川)						
				24(日)	★ 33 サロマ湖100kmウルトラマラソン	北海道	8(日)	GP 南部記念陸上	厚別(北海道)	5 日中韓3カ国交流	厚別(北海道)	
9月	2(木)~6(日)	71 全国高校陸上	三友記念体育館(徳島)	21(土)	58 実業団・学生対抗		10(火)~15(日)	17 U20 世界陸上競技選手権	タンペレ(フィンランド)			
				10(金)~12(日)	53 全国定通制高校陸上	駒沢(東京)	11(土・祝)	43 蔵王坊平クロスカントリー	上山(山形)			
				18(土)	34 全国小学生陸上	日産スタジアム(神奈川県)	26(日)	'18 北海道マラソン	北海道			
				18(土)~21(火)	45 全国中学陸上	県民総合(岡山)				18(土)~19(日)	18 アジア競技大会	ジャカルタ(インドネシア)
10月	25(土)~26(日)	53 全国高専陸上	県民総合(熊本)	7(金)~9(日)	○ 87 日本学生対校	等々力(神奈川)	8(土)	30 IAU100km世界選手権	スペイ(マレーシア/クワチ)			
				25(土)~26(日)	6 全国高校陸上選抜	ヤンマーフォーラム長居(大阪)	21(金)~23(日)	66 全日本実業団	ヤンマースタジアム長居(大阪)/ヤンマーフォーラム長居(大阪)	8(土)~9(日)	3 コンチネンタルカップ	オストラバ(チェコ)
11月	19(金)~21(日)	12 日本選手権	瑞穂(愛知)	21(日)	39 全日本マスターズ	布勢総合(鳥取)	調整中	デカネーション	調整中			
				19(金)~21(日)	12 U18日本選手権	瑞穂(愛知)	8(月・祝)	○ 30 出雲全日本大学選抜駅伝	島根	6(土)~18(木)	3 ユースオリンピック	ブエノスアイレス(アルゼンチン)
				28(日)	○ 36 全日本大学女子駅伝	宮城	21(日)	57 全日本50km競歩高島	山形			
				4(日)	○ 50 全日本大学駅伝	愛知・三重						
12月	2(日)	72 福岡国際マラソン	福岡	11(日)	34 東日本女子駅伝	福島						
				9(日)	21 小学生クロスカントリー	万博記念公園(大阪)	18(日)	8 神戸マラソン	兵庫			
2019 1月	13(日)	37 都道府県対抗女子駅伝	京都	25(日)	38 全日本実業団女子駅伝	宮城						
				20(日)	24 都道府県対抗男子駅伝	広島	25(日)	8 大阪マラソン	大阪			
2月	2(土)~3(日)	19 U20日本室内大阪	大阪城ホール(大阪)	28(日)	○ 36 全日本大学女子駅伝	宮城						
				9(日)	21 小学生クロスカントリー	万博記念公園(大阪)	9(日)	'18 長崎陸協競歩	県立総合(長崎)			
				16(日)	26 全国中学駅伝	希望が丘(滋賀)	9(日)	30 全日本びわ湖クロスカントリー	希望が丘(滋賀)			
				23(日・祝)	69 30全国高校駅伝	京都	16(日)	49 防府読売マラソン	山口			
3月	17(日)	43 全日本競歩能美	石川	23(日・祝)	○ '18 全日本大学女子選抜駅伝	静岡						
				17(日)	○ 13 日本学生20km競歩	石川	17(日)	○ 22 日本学生ハーフマラソン	東京	17(日)	アジア陸上競技選手権・20km競歩	能美(石川)
3月	17(日)	43 全日本競歩能美	石川	17(日)	○ 22 日本学生ハーフマラソン	島根	30(土)	43 世界クロスカントリー選手権	オーフス(デンマーク)			
				17(日)	○ 13 日本学生20km競歩	石川						

※ 102 日本選手権リレー 日程/場所調整中  
 ※ 4 さいたま国際マラソン 日程調整中  
 ※ '19 東京マラソン 日程調整中  
 ※ 74 びわ湖毎日マラソン 日程調整中  
 ※ '19 名古屋ウィメンズマラソン 日程調整中

★=後援競技会、○=協力団体主要競技会

※ニトロアスレチック 日程/場所調整中

# 理事会報告

## 第46回理事会

日時：2017年9月28日（木）

14時00分～16時54分

場所：ハイアットリージェンシー東京 地下1階 天平

### 【議事内容】

理事総数30名中出席者27名にて、理事会の成立を風間事務局長が報告。横川会長が挨拶を行い、引き続き、議事進行に入る。

### 【協議事項】

#### 1. 2018年度主要競技会日程

尾縣専務理事より、資料に基づき説明があり、2018年度主要競技会日程が承認された。

（本号198頁及び本連盟WEBサイト<http://www.jaaf.or.jp/pdf/competition/2018calendar.pdf>参照）

#### 2. 定款細則の改定

尾縣専務理事より、資料に基づき説明があり、専門委員会運営細則の制定に伴い、定款細則第13条及び第14条を削除する定款細則の改定が承認された。

### 【定款細則の改定】

定款細則第13条及び第14条を削り、第15条を第13条とし、第16条を第14条、第17条を第15条、第18条を第16条とする。

#### 3. 専門委員会運営細則の制定

尾縣専務理事より、資料に基づき説明があり、専門委員会運営細則の制定が承認された。

#### 4. 栄章規程の改定

尾縣専務理事より、資料に基づき説明があり、栄章規程の改定が承認された。

【栄章規程の改定】 改定箇所は\_\_\_\_\_部分

（対象）

第2条 本連盟が授与する栄章の種類、対象及び個数をつぎの通り定める。

#### （7）勲功章

日本陸上競技界に勲功があった競技者及びその指導者に授与する。（個数は限定しない）

①オリンピック及び世界陸上競技選手権大会の入賞者

②アジア競技大会、ユニバーシアード及びU20世界陸上競技選手権大会の金メダリスト

#### （9）諸記録章

日本人で世界記録、U20世界記録、室内世界記録、日本記録、U20日本記録、U18日本記録及び室内日本記録を樹立した者に授与する。（個数は限定しない）

【栄章授与者推薦基準】

#### 7. 勲功章

（1）日本陸上競技界に勲功があった競技者及びその指導者に授与する。

（2）授与区分-

①オリンピック、世界陸上競技選手権大会の入賞者。

リレー競走においては、いずれかのラウンドに出場した者を対象とする。

②アジア競技大会、ユニバーシアード及びU20世界陸上競技選手権大会の金メダリスト。

リレー競走においては、いずれかのラウンドに出場した者を対象とする。

授与人数-制限なし

授与期日-国民体育大会のとき

#### 9. 諸記録章

授与区分-日本人で世界記録、U20世界記録、室内世界記録、日本記録、U20日本記録、U18日本記録及び室内日本記録を樹立した者に授与する。

授与人数-制限なし

授与期日-本連盟で作製した章記を本人へ郵送する。

#### 5. ジャカルタ2018アジア競技大会

##### トラック&フィールド種目日本代表選手選考要項

伊東強化委員長より、資料に基づき説明があり、ジャカルタ2018アジア競技大会トラック&フィールド種目日本代表選手選考要項が承認された。

理事会後、文章の一部修正を行う。

（本連盟WEBサイト[http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/17\\_190937.pdf](http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/17_190937.pdf)及び[http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/05\\_140650.pdf](http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/05_140650.pdf)参照）

#### 6. ジャカルタ2018アジア競技大会

##### 競歩日本代表選手選考要項の改定

伊東強化委員長より、資料に基づき説明があり、ジャカルタ2018アジア競技大会競歩日本代表選手選考要項の改定が承認された。

### 【改定箇所】

男子50km競歩の選考競技会に「太倉2018世界競歩チーム選手権大会」を追加する。

（本連盟WEBサイト[http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/06\\_112054.pdf](http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/06_112054.pdf)参照）

#### 7. 第102回日本陸上競技選手権リレー競技大会

##### 参加資格

伊東強化委員長より、資料に基づき説明があり、第102回日本陸上競技選手権リレー競技大会の参加資格が承認された。（資料1参照）

#### 8. 第73回（2018年度/福井）・第74回（2019年度/茨城）国民体育大会における男女混合4×400mリレー種目の追加

尾縣専務理事より、資料に基づき説明があり、2018年度、福井で行う第73回及び2019年度、茨城で行う第74回国民体育大会での男女混合4×400mリレー種目の追加について、日本体育協会に上程することが承認された。

## 〈報告事項〉

1. 第16回世界陸上競技選手権大会  
(2017/ロンドン) 報告
2. 第4回日中韓3カ国交流陸上競技大会  
(2017/寧波) 報告
3. 第22回アジア陸上競技選手権大会  
(2017/ブバネーシュワル) 報告
4. 第25回日・韓・中ジュニア交流競技会報告
5. デカネーション2017報告
6. バレンシア2018世界ハーフマラソン選手権大会

### 日本代表選手選考要項

(本連盟WEBサイト [http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/05\\_142537.pdf](http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/05_142537.pdf)参照)

### 7. U20関連競技会2018年度日本代表選手選考要項

#### ・岐阜2018アジアジュニア陸上競技選手権大会

(本連盟WEBサイト [http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/05\\_144935.pdf](http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/05_144935.pdf)参照)

#### ・タンペレ2018U20世界陸上競技選手権大会

(本連盟WEBサイト [http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/05\\_145016.pdf](http://www.jaaf.or.jp/files/upload/201710/05_145016.pdf)参照)

### 8. 第101回日本陸上競技選手権リレー競技大会における

#### 男女混合4×400mリレー種目の追加

上記、伊東強化委員長より資料に基づき、報告された。

### 9. コンプライアンス委員会委員の選任

尾縣専務理事より、資料に基づき説明があり、コンプライアンス委員会委員の選任について、以下の9名の委員の選任が報告された。

[委員長] 尾縣貢 ※2017年6月26日第44回理事会にて選任済  
[委員] 伊東浩司、清水真、小手川強二、繁田進、矢萩治男、高橋尚子、前島伸行、三國一成、工藤洋治

[任期]

2017年6月12日より2019年開催の定時評議員会最終時まで。

### 10. 改正個人情報保護法施行に伴う対応について

尾縣専務理事より、資料に基づき説明があり、資料2の内容が報告された。

### 11. 競技運営委員会報告

鈴木競技運営委員長より、資料に基づき説明があり、「第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン)視察報告」及び「TOKYO2020競技役員研修会「NTO資格取得研修会について」」報告された。

なお、非公開において、2019年竣工予定の日本体育協会・日本オリンピック委員会新会館(仮称)への事務所の移転を協議し、原案通り承認された。

## 資料1

### 第102回日本陸上競技選手権リレー競技大会 参加資格

#### 1. 種目

男子 4×100mリレー、4×400mリレー

女子 4×100mリレー、4×400mリレー

※2020東京オリンピック特別対策種目として、男女混合4×400mリレーを実施予定。

#### 2. 参加資格

2018年度本連盟登録競技者で、日本国籍を有する競技者(日本で生まれ育った外国籍競技者を含む)で編成したチームとし、次の(1)～(2)のいずれかに該当するチーム。

(1) 第101回日本陸上競技選手権優勝チーム。ただし、その種目に限る。

(2) 資格記録ランキング上位チーム。ただし、その種目に限る。

1) 資格記録で、(1)のチームを含め出場申し込みをした資格記録ランキング上位27チーム。(2つ以上のクラブ・学校・事業所を代表する選抜チームを除く)。

【注意】開催競技場が8レーンしかない場合は、参加資格(1)

及び(2)1)による出場資格は上位24チームに与える。

#### 3. 資格記録ランキング

本連盟ホームページにて2018年4月1日以降随時更新予定。

#### 4. 資格記録

記録の有効期間は2018年4月1日からとし、期間の終了日は大会開催期日確定後に主管陸上競技協会と協議の上決定する。また、電気時計(写真判定装置)で計測したもののみ有効とする。

#### 5. その他

(1) 同一クラブ、学校、事業所を代表する1チームであること。

(2) 大学チームにおいては、学連の競技会以外で参加資格を得る場合は、同一都道府県所属の選手で構成したチームで樹立した記録でなければならない。また本大会へのエントリーにも同一都道府県所属の選手でチームを構成する必要がある。

(3) 2020東京オリンピック特別対策種目の男女混合4×400mリレーの参加資格は別途定める。

## 資料2

### 改正個人情報保護法施行に伴う対応について

2017年5月30日に改正個人情報保護法が施行されたことに伴い、本連盟における個人情報の取り扱いについて、下記にて対応を行う。

#### ○改正個人情報保護法のポイント

・改正前は、5,000人分以下の個人情報を取り扱う事業者は法の対象外とされてきたが、改正後は全ての事業者に個人情報保護法が適用される。

・この事業者には、加盟団体、協力団体の非営利組織も該当する。

・個人情報取扱事業者は、法の定める義務に違反し、この件に関する個人情報保護委員会の改善命令にも違反した場合、「6ヶ月以下の懲役または30万円以下の罰金」の刑事罰が課せられる。

・加えて、漏えいした個人情報の本人から、漏えいによる被害や、実被害が無くても、漏えいしたという事実による損害賠償民事訴訟のリスクが発生する。

#### ○本連盟の対応

・「個人情報保護方針」「登録会員規程」の見直し

#### ○スケジュール

2017年10月～12月 「個人情報保護方針」「登録会員規程」の見直し

2018年1月～3月 加盟団体・協力団体への説明会

2018年4月～ 段階的運用



# 強化関連情報

強化委員会

## ジャカルタ2018アジア競技大会トラック・フィールド種目代表選手選考要項

### 1. 編成方針

公益財団法人日本オリンピック委員会（以下、JOC）の選手団編成方針・派遣枠に準じ、東京2020オリンピック（以下「東京オリンピック」という）へ向けた2018年度最重要な国際競技会と位置づけ、東京オリンピックで活躍が期待される競技者、並びに本大会でメダル獲得が期待される競技者で選手団を編成する。

### 2. 開催地

ジャカルタ（インドネシア）

### 3. 開催期日

2018年8月20日（月）～8月29日（水）

### 4. 対象種目（未定）

#### (1) 男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、110mH

400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投

十種競技、4×100mリレー、4×400mリレー

#### (2) 女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、100mH

400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投

七種競技、4×100mリレー、4×400mリレー

#### (3) 男女混合

4×400mリレー

### 5. 選考競技会

#### (1) 第102回日本陸上競技選手権大会（2018/山口・長野）

#### (2) 2018日本グランプリ プレミア

- ・第66回兵庫リレーカーニバル
- ・TOKYO Combined Events Meet 2018
- ・第52回織田幹雄記念国際陸上競技大会
- ・第34回静岡陸上競技大会

#### (3) セイコーゴールデングランプリ陸上大阪（2018）

#### (4) アジアグランプリ2018

### 6. 資格記録

東京オリンピックでのメダル、入賞、出場に向けた目標値としての記録を「オリンピックターゲット記録」、本大会でのメダル獲得が期待される記録を「アジア大会メダル期待記録」として定める。

#### (1) 東京オリンピックターゲット記録（メダル）（以下、オリンピックメダル）

オリンピックでメダルを目指すために必要となる記録水準。世界ランク6位～8位相当。

#### (2) 東京オリンピックターゲット記録（BEST8）（以下、オリンピックBEST8）

オリンピックで8位入賞を目指すために必要となる記録水準。世界ランク12位相当。

#### (3) 東京オリンピックターゲット記録（スタンダード）（以下、オリンピックスタンダード）

オリンピックで参加標準記録相当と考えられる記録水準。

#### (4) アジア大会メダル期待記録（以下、アジアメダル）

本大会でのメダル獲得が期待される記録水準。

### 7. 資格記録有効期間

#### (1) 東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）

2018年1月1日以降の下記に定める対象競技会での記録

を対象とする。

#### (2) 東京オリンピックターゲット記録（スタンダード）、アジア大会メダル期待記録

2017年10月1日以降の国際陸上競技連盟が記録を公認する競技会での記録を対象とする。

#### 8. 東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会

東京オリンピックターゲット記録は、下記の大会で出された記録のみ対象とする。

##### (1) 日本選手権前の内定基準に適用

- 1) IAAF DIAMOND LEAGUE 2018
- 2) IAAF WORLD CHALLENGE 2018（セイコーゴールデングランプリ陸上大阪2018含む）
- 3) 2018日本グランプリ プレミア（兵庫・東京・広島・静岡）

##### (2) 日本選手権における内定基準に適用

- 1) IAAF DIAMOND LEAGUE 2018
- 2) IAAF WORLD CHALLENGE 2018（セイコーゴールデングランプリ陸上大阪2018含む）
- 3) バーミンガム2018世界室内陸上競技選手権大会
- 4) 第102回日本陸上競技選手権大会（2018/山口）
- 5) 第102回日本陸上競技選手権大会・混成競技（2018/長野）
- 6) 2018日本グランプリ プレミア（兵庫・東京・広島・静岡）
- 7) 2018日本グランプリ  
・第27回金栗記念選抜陸上長距離熊本大会  
・吉岡隆徳記念第72回出雲陸上競技大会  
・2018水戸招待陸上  
・第29回ゴールデングেমズinのべおか  
・第5回木南道孝記念陸上競技大会  
・布勢スプリント2018  
・第15回 田島直人記念陸上競技大会

### 9. 選考基準

各条件間の優先順位は、上に記載されているものほど優先するものとし、各条件内での優先順位は、丸数字及びアルファベットの順番による。強化カテゴリー別の種目は下記の通り。

カテゴリー	性別	種目
ゴールドメダルメダル	男子	100m、200m、400mH、やり投、棒高跳
	女子	5000m、10000m、やり投
TOP8	男子	800m、110mH、3000mSC、走高跳、走幅跳、三段跳、十種競技、5000m、10000m
	女子	100mH、3000mSC
リレー	男子	400m
	女子	100m、200m、400m
ワールドチャレンジ	男子	1500m、砲丸投、円盤投、ハンマー投
	女子	800m、1500m、400mH、走幅跳、三段跳、走高跳、棒高跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、七種競技

#### (1) ゴールドメダル・メダルカテゴリー（女子5000m、女子10000m除く）

##### 1) 内定基準

##### ① 日本選手権前

東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（1）において、オリンピックメダルを充たした競技者。

ただし、東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（1）（3）における内定は、日本人最上位のみを対象とする。

②日本選手権

- a) 日本選手権において、オリンピックメダルを充たした競技者。
- b) 東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（2）において、オリンピックBEST8を充たした、日本選手権3位以内の競技者。
- c) オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権3位以内の最上位競技者。

2) 選考基準

- ①オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権3位以内の競技者。
- ②オリンピックスタンダードを充たした、選考競技会（2）、（3）における日本人最上位競技者。（但し、日本選手権に出場することを条件とする）
- ③アジアメダルを充たした、日本選手権3位以内の競技者。
- ④本大会での活躍が期待される、強化委員会が推薦する競技者。

(2) ゴールドメダル・メダルカテゴリー（女子5000m、女子10000m）

1) 内定基準

①日本選手権前

東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（1）において、オリンピックメダルを充たした競技者。

ただし、選考競技会（1）（3）における内定は、日本人最上位のみを対象とする。

②日本選手権

- a) 日本選手権において、オリンピックメダルを充たした競技者。
- b) 東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（2）において、オリンピックBEST8を充たした、日本選手権3位以内の競技者。
- c) オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権3位以内の最上位競技者。

2) 選考基準

- ①東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（2）において、オリンピックBEST8を充たした、選考競技会（2）、（3）における日本人最上位競技者。（但し、日本選手権に出場することを条件とする）
- ②オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権3位以内の競技者。
- ③アジアメダルを充たした、日本選手権3位以内の競技者（5000mのみ適用）

(3) TOP8 カテゴリー（男子5000m、男子10000m除く）

TOP8 カテゴリーの対象種目の競技者が、東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（2）においてオリンピックメダルを充たした場合、その競技者に限りゴールドメダル・メダルカテゴリー選考基準を適用する。

1) 内定基準

①日本選手権前

東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（1）において、オリンピックBEST8を充たした、選考競技会（2）、（3）における日本人最上位競技者。

②日本選手権

オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権優勝者。

2) 選考基準

- ①オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権3位以内の競技者。
- ②アジアメダルを充たした、日本選手権優勝者。
- ③アジアメダルを充たした、日本選手権3位以内の競技者。
- ④アジアメダルを充たした、選考競技会（2）、（3）における日本人最上位競技者。アジアメダルを充たした、選考競技会（4）において3位以内の競技者。（但し、日本選手権に出場することを条件とする）
- ⑤本大会での活躍が期待される、強化委員会が推薦する競技者。

(4) TOP8 カテゴリー（男子5000m、男子10000m）

TOP8 カテゴリーの対象種目の競技者が、東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（2）においてオリンピックメダルを充たした場合、その競技者に限りゴールドメダル・メダルカテゴリー選考基準を適用する。

1) 内定基準

①日本選手権前

東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（1）において、オリンピックBEST8を充たした、選考競技会（2）、（3）における日本人最上位競技者。

②日本選手権

オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権優勝者。

2) 選考基準

- ①アジアメダルを充たした、日本選手権優勝者。
- ②オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権3位以内の競技者。
- ③オリンピックスタンダードを充たした、選考競技会（2）、（3）における日本人最上位競技者。（但し、日本選手権8位入賞以内を条件とする）
- ④アジアメダルを充たした、日本選手権3位以内の競技者。
- ⑤アジアメダルを充たした、選考競技会（2）、（3）における日本人最上位競技者。（但し、日本選手権8位入賞以内を条件とする）

(5) リレーカテゴリー（男子400m、女子100m、女子200m、女子400m）

リレーカテゴリーの対象種目の競技者が、東京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（2）においてオリンピックBEST8を充たした場合、その競技者に限りTOP8 カテゴリー選考基準を適用する。

1) 内定基準

①日本選手権

オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権優勝者。

2) 選考基準

- ①オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権3位以内の競技者。
- ②アジアメダルを充たした、日本選手権優勝者。
- ③アジアメダルを充たした、日本選手権3位以内の競技者。
- ④アジアメダルを充たした、選考競技会（2）、（3）における日本人最上位競技者。アジアメダルを充たした、選考競技会（4）において3位以内の競技者。（但し、日本選手権に出場することを条件とする）
- ⑤本大会での活躍が期待される、強化委員会が推薦する競技者。

(6) ワールドチャレンジカテゴリー

ワールドチャレンジカテゴリーの対象種目の競技者が、東

京オリンピックターゲット記録（メダル、BEST8）対象競技会（2）においてオリンピックBEST8を充たした場合、その競技者に限りTOP8カテゴリー選考基準を適用する。

1) 内定基準

①日本選手権

オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権優勝者。

2) 選考基準

①オリンピックスタンダードを充たした、日本選手権3位以内の競技者。

②アジアメダルを充たした、日本選手権優勝者。

③アジアメダルを充たした、日本選手権3位以内の競技者。

④アジアメダルを充たした、選考競技会（2）、（3）における日本人最上位競技者。  
アジアメダルを充たした、選考競技会（4）において3位以内の競技者。

（但し、日本選手権に出場することを条件とする）

⑤本大会での活躍が期待される、強化委員会が推薦する競技者。

(7) リレー種目

1) 男子4×100mリレー

個人種目に準じて選考するが、リレーの特性を考慮する。

2) 女子4×100mリレー、男女4×400mリレー、男女混合4×400mリレー

バハマ2019ワールドリレーズ、ドーハ2019世界陸上競技選手権大会の派遣に向けて、リレーの特性を考慮した特別な選考基準を設定する。

10. 選考方法

(1) 日本選手権前の内定

内定基準を充たした時点で、即時内定する。

(2) 日本選手権終了後の選考（2018年6月25日）

1) 内定

日本選手権時内定基準を充たした競技者は、日本選手権終了時点で、選考基準の優先順位上位の項による内定基準を満たした競技者が2名に満たなかった場合、即時

内定とする。

ただし、該当者が選考基準優先順位上位の項による内定者を含めると2名を越える場合は、日本選手権終了後、優先順位同格の内定基準を満たした競技者のみを対象に編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で選考し、理事会において決定する。

2) 選考（リレー種目は除く）

日本選手権終了時点で、内定条件を満たした競技者が2名に満たなかった場合、日本選手権終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で選考し、理事会（2018年6月25日予定）において決定する。

3) 選考（リレー種目）

日本選手権終了後、本連盟の定める編成方針・選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で選考し、理事会において決定する。

11. 補足

(1) 派遣人数枠及び代表選手の正式決定は、派遣団体であるJOCにより決定される。

(2) 各種目の代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数は定められたエントリー数の上限の枠を保証するものではない。

(3) 本大会の成績による、ドーハ2019アジア陸上競技選手権大会の内定基準は、アジア陸上競技連盟の大会要項公表後に決定する。

(4) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。

(5) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消すことがある。

(6) アンチ・ドーピングに関わる全ての規準を遵守出来ない場合や、日本代表としての義務を果たさない場合は、日本代表の資格を取り消す場合がある。

(7) 資格記録については、当該競技会の競技運営等を確認の上、資格記録として承認可能かを判断する。

(8) 代表選手は、本連盟主催宿泊、研修会等の出席状況等も考慮し判断する場合がある。

ジャカルタ2018アジア競技大会  
トラック・フィールド種目別資格記録

男子				種目	女子			
東京オリンピックターゲット記録			アジアメダル 期待記録		東京オリンピックターゲット記録			アジアメダル 期待記録
メダル	BEST8	スタンダード			メダル	BEST8	スタンダード	
9.89	9.98	10.12	10.20	100m		11.03	11.26	11.45
19.91	20.12	20.44	20.77	200m		22.53	23.10	23.49
	44.71	45.50	45.87	400m		50.70	52.10	52.68
1.43.42	1.43.93	1.45.90	1.47.17	800m		1.58.73	2.01.00	2.02.63
	3.33.20	3.36.00	3.40.49	1500m		4.01.95	4.07.50	4.13.55
13.09	13.24	13.48	13.58	110mH 100mH	12.64	12.75	12.98	13.23
48.29	48.70	49.35	50.17	400mH		54.65	56.10	56.98
8.11.39	8.17.46	8.32.00	8.37.64	3000mSC	9.20.16	9.23.81	9.42.00	9.49.85
12.57.20	13.05.95	13.22.60	13.30.00	5000m	14.53.91	15.04.94	15.22.00	15.30.00
27.07.59	27.28.59	27.45.00	28.00.00	10000m	30.59.17	31.28.05	32.15.00	32.15.00
2.36	2.32	2.30	2.25	走高跳		1.97	1.94	1.89
5.79	5.75	5.70	5.49	棒高跳		4.66	4.55	4.14
8.33	8.25	8.15	7.95	走幅跳		6.85	6.75	6.46
17.39	17.14	16.80	16.76	三段跳		14.40	14.10	13.84
	20.93	20.50	19.52	砲丸投		18.84	17.75	17.01
	66.49	65.00	61.13	円盤投		64.37	61.20	58.01
	78.42	76.00	71.88	ハンマー投		73.61	71.00	61.55
85.97	85.18	83.00	80.42	やり投	65.08	64.01	61.40	58.26
8472	8316	8100	7577	十種競技 七種競技		6388	6200	5476



# 「体育の日」スポーツ祭り2017報告

事務局

平成29年度「体育の日」中央記念行事スポーツ祭り2017が、スポーツ庁他の主催により、味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）で開催された。本行事は、陸上競技以外にも多くのオリンピックやトップアスリートがゲストとして参加するビッグイベントであり、陸上競技からはケンブリッジ飛鳥選手（NIKE）、荒井広宙選手（自衛隊体育学校）、猿山力也選手（SPOPE AC）の3選手に参加いただいた。



開催当日の10月9日（月・祝）は、秋晴れの快晴のもと、公募によって選ばれた小学生約100名が参加した。前半はトップアスリートによるデモンストレーションの実施。後半は、短距離、競歩、走幅跳の3種目の陸上教室を実施した。普段の日本陸連のイベントでは陸上競技を既に実施している子どもたちが参加することが多いが、本イベントは一般公募のため、陸上競技未経験も多く参加している。

デモンストレーションでは、ケンブリッジ選手に50m走、荒井選手に競歩、猿山選手に走幅跳を担当して頂いた。特にケンブリッジ選手の50mのデモンストレーションでは、子供たちだけではなく見学している方からも大きな歓声が沸いた。普段なかなか見ることができない貴重な経験となった。

## ●デモンストレーション

### ・走幅跳

走幅跳は猿山選手が担当。砂場ピットを子どもたちが囲む中、デモンストレーションを行った。会場にいる人全員で猿山選手を応援するために手拍子を行い会場に一体感が生まれていた。その中で猿山選手は7mオーバーの大ジャンプを見せ会場を沸かせた。



### ・競歩

担当は陸上男子50キロ競歩でリオ五輪銅メダル、今年の世界陸上銀メダルの荒井選手。子どもたちはなかなか見ることのない競歩の速さにびっくりしていた。

競歩と走る動きの違いについても自分自身の動きの違いで子どもたちにわかりやすく教えていた。

### ・50m走

スターティングブロックを使用し行った。雷管の号砲とともに観客から大きな歓声が沸き会場を興奮させた。参加者とケンブリッジ選手の距離は約5mと近い距離でのパフォーマンスであった。そ

の近い距離でトップアスリートのスピードを体感できたことは子どもたちにはいい経験となった。



## ●陸上教室

まず初めに荒井選手の指導による競歩教室を行った。子どもたちは荒井選手、ケンブリッジ選手、猿山選手とともにトラック一周を競歩にて行った。最後、100mは全員で競争し15分間の競歩教室を終えた。その後、走幅跳教室と短距離教室の2種目をローテーションにて子どもたちは各種目に参加した。ケンブリッジ選手と猿山選手から走・跳の基本動作を教わる。短距離ではスキップ等全身を使って走る指導を行った。教室の最後にはケンブリッジ選手と一緒に競争する場面も見られ、荒井選手とケンブリッジ選手が競争する場面もあった。走幅跳では遠くに跳ぶための踏切練習と空中動作の指導を行い全身を使って飛ぶことの大切さの指導を行った。トップアスリートの方々に身近で教えてもらいうい機会となった。最後には写真撮影や3選手のサイン会が行われ、子供たちは充実した表情を見せながら、陸上教室は終了した。

## <総括>

普段日本陸連の普及イベントの参加者の多くは陸上競技を既に経験している子どもたちが多く、陸上未経験者へのアプローチへの課題がある。本イベントは一般公募ということもあり、陸上競技未経験も多く参加している為、日本陸連としても貴重なイベントとなった。今後、本イベントで得られた知見をもとに、より多くの人たちに陸上競技の関心を訴求すべく様々な施策を検討していきたい。



# Great North City Games 視察報告

施設用器具委員会委員長 高木良郎

期間：2017年9月4日～11日（視察5日～10日）

視察目的：本年、本連盟は、「屋外種目別陸上競技施設公認に関する細則」を新たに定め、いわゆる「ストリート陸上」公認に道を開いた。一方で、施設の設営や運用、検定方法について未知数な部分も多いため、世界でも先駆的な「競技場以外での競技会」として有名な、イギリス、ニューカッスルで開催されている、グレートノースシティゲームズ（Great North City Games）の走路、助走路の設置方法、検査方法について視察した。

## 大会概要

- ・9月9日（土）にGreat North City Games、9月10日に参加者57,000人の世界最大のハーフマラソンGreat North Runが開催された。
- ・Great North City Gamesの種目は小学生男女100m、女子100m、T44（IPC）100m、U19男女150m、男女150m、男子110mH、500m（ロード）、1マイル（ロード）、男子棒高跳、女子走幅跳。競技開始12時、最終種目14時56分。
- ・周囲のコース（約1700m）で競技会の前後に親子、ジュニアのロードレースを実施している。
- ・The Great Run Companyが大会を運営し、ニューカッスル近郊の審判員が招集され競技審判を行っている。
- ・BBC放送が放映している。



会場全景  
川の左に走幅跳、  
川の右の高い建物の  
前の広場に棒高跳、  
横の道路に直走路を  
設置走路

## 施設概要

- ・観光客が訪れるタイン川ミレミアム橋の左岸カーサイド、右岸ゲーツヘッド（地名）を会場としている。
- ・タイン川右岸のゲーツヘッドのバス路線が通る道路に直走路を設置している。直走路は4レーン、レーン幅1.22m、直線190m。
- ・タイン川左岸沿いの遊歩道に走幅跳を設置している。走幅跳は助走路60m、レーン幅1.22m、砂場3m×10m、深さ40cm、踏切板の位置は砂場から1.78m。
- ・タイン川右岸の広場に棒高跳場を設置している。棒高跳は助走路45m、レーン幅1.22m。
- ・走路、助走路の最大許容傾斜度、は幅で100分の1を超えないようにし、走る方向で下りの勾配は1000分の1を超えてはならないとの規定がある。道路や広場に勾配を確保するための鋼鉄製の土台を組み立てて高さを調整し、その上に全天候舗装材を敷きならべ、ラインを引き直している。
- ・勾配を確保するため直走路では道路から27～102cm高くなっている。
- ・設営は9月5日から8日まで4日間かかった。毎年設営をしているので、手際が良かった。



設営状況（HPより）



土台の設置状況（HPより）



直走路



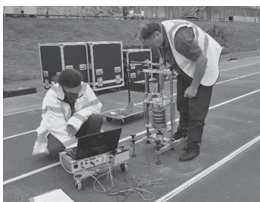
棒高跳

## 走路、助走路の検査

- ・競技規則第149条では、「競技会当日に公式計測員によって計測され発行された証明書を得た競技場所や施設で実施されること」となっているが、この競技会ではロンドンにあるIAAF公認検査機関「CST」が検査・計測を行い、IAAFに報告書を提出している。検査内容はIAAFと事前に協議して決めてある。このような検査を行うことから世界記録まで認められることとなる。10数年前、運営会社が屋外陸上競技イベントを初めて開催したとき、そこで生まれた諸記録がIAAFにより「エキジビション（見せ物）」によるものとして公認ランキングからは別扱いにされた苦い経験から、「世界記録が認められる」最高レベルの設営と検査をすることになったという。

## 検査・計測内容

- ①性能テスト…温度、衝撃吸収性（Shock Absorption）、鉛直ひずみ（Vertical Deformation）、スベリ抵抗（Slip Resistance）、厚さの5項目。計測する箇所も事前に決まっている。
- ②表面の均一性（サーフェスイブネス）
- ③距離の計測
- ④レーン幅の計測
- ・検査期間9月7日～8日
- ・衝撃吸収性（Shock Absorption）は反発力を測定するもので、許容範囲は35～50% ±1と定められている。木製の場合は弾力があり反発力がなく、許容範囲をオーバーすることが推測され、選手に不利となる。
- ・表面の均一性は4mの鋼鉄製定規で平坦性を測定するもので、許容範囲は±6mmと定められている。定規を移動して隙間の空いているところを楔形の定規で測定する。隙間が許容範囲を超えている箇所が数カ所あり、その都度土台を上げる作業を行っている。走路のふくらみやまぼこしている箇所も修正していた。
- ・距離は、追尾式の光波計測器を1名で計測していた。
- ・レーン幅はコンベックスで計測していた。計測地点でレーン幅が違うところはラインの修正を指示していた。計測箇所のレーン幅の規格に合致しているが、ラインが曲がっているときは、規則上は修正できないのではとの話があった。しかし、一部の外側のラインを修正した。



性能検査（衝撃吸収性の検査）



表面の均一性の検査

## 大会（9月9日）

- ・8時50分から周囲のコース（約1700m）でGreat North Runのひとつとして親子などのロードレースを実施している。競技会は15時に終了したが、その後もGreat North Runのロードレースが行われていた。
- ・12時に棒高跳から競技が開始され、多くのロードレース参加者や観客が訪れていた。
- ・観客が身近に観覧できるように、走路、助走路から2～3mのところにフェンスを設置している。選手と近いので走り終わった選手からサインをもらう光景が多くあった。しかし、観客が多くフェンスの前列でなければ身近に選手の動きがよく見えないのが残念であった。

## Great North Run（9月10日）

- ・種目はエリート車いす、エリート女子、エリート男子と一般。参加者57,000人。
- ・ニューカッスルからサウスシールズまでの片道のコース。8キロ付近まで中央分離帯のあるところを含め全線を使用している。記録は公認とならない。
- ・10時40分にエリート男子と一般のスタート。男子はモハメド・ファラーが優勝。最終のランナーがスタートを通過したのは58分後であった。
- ・審判員はスタートとフィニッシュに配置されていたが、コース上には確認できなかった。

## おわりに

- ・毎年行われていて専用の器具などもあり、手際が良かったが、3時間の競技会としては大がかりな準備が必要となっている。Great North City GamesとGreat North Runの一体となった大会であり、BBCの放映権などで開催が可能となっているのではないだろうか。
- ・走路、助走路は国内の室内競技会と同様な木製ボードを想定していたが、鋼鉄製のものでなければIAAFの基準はクリアできないことがわかった。策定した「屋外種目別陸上競技施設公認に関する細則」を修正する必要がある。

## 細則の修正、検討を要する事項

- ①舗装の土台の基礎構造、②IAAF検査を受けないと世界記録等が認められない、③直走路のレーン数、④競技会での安全対策計画の確認



観戦状況（直走路）



観戦状況（棒高跳）



# 第22回JAAFコーチング・クリニック

## 女性指導者のためのコーチング・クリニック 参加者募集

例年、指導者の皆様から大変好評をいただいております「JAAFコーチング・クリニック」を下記の要項で開催いたします。

第22回は、新しい試みとして女性指導者を対象に、跳躍種目の「実技講習」、現在各界で活躍する、トップアスリート、女性指導者や元アスリートによる参加型のパネルディスカッション、婦人科系や女性アスリートの三主徴などの諸問題についてのワークショップ等、現場で活かせる内容を盛り込んでおります。

詳細は決定次第、日本陸連HPに掲載させていただきます。

### 開催要項

- 主催：公益財団法人日本陸上競技連盟  
共催：アシックスジャパン株式会社  
日程：2018年1月7日（日）10：00～16：30（9：30受付開始）  
会場：日本女子体育大学（東京都世田谷区北烏山8-19-1）  
内容：・実技講習（棒高跳・走高跳・三段跳）  
・パネルディスカッション  
1部：絶賛活躍中！現役女性アスリートおよびOGによるトークセッション  
2部：女性特性（女性アスリートの三主徴など）について  
※女性アスリートの三主徴とは：「無月経」「摂取エネルギー不足状態」「骨粗鬆症」
- 講師：近藤高代（棒高跳）、ハニカット陽子（走高跳）、  
海老原有希（スズキ浜松AC）、能瀬さやか（東大病院婦人科）、他
- 参加者：女性指導者および今後指導に関わりたい方（成人女性）  
定員：60名  
参加費用：JAAF公認指導者資格有資格者 5,000円  
それ以外の方 7,000円  
※参加費用は理由の如何に関わらず返却できません。  
※宿泊斡旋はしておりませんので、各自でお願いいたします。  
※昼食は会場にてご用意させていただきます。
- 申込方法：イー・モシコム（<https://moshicom.com/11783/>）よりお申し込みください。  
※イー・モシコム QRコードは下部にてご確認ください。  
※お申込みはインターネットのみとなりますので予めご了承ください。
- 申込期間：2018年1月4日（木）まで
- その他：・クリニック終了後（16：00～16：30）、懇親会を予定しています。参加費500円（飲物等）にて自由参加となります。ご参加の方はイー・モシコム内にて参加費と合わせてお申込みください。  
・託児サービスを予定しています。対象は5～12才まで。  
託児費は無料ですが、保険料のみ当日現地にてお支払いいただきます。  
ご希望の方はイー・モシコム内にてお申込みください。
- 問合せ：日本陸上競技連盟「コーチング・クリニック係」  
TEL 03-5352-6580（平日10：00～18：00）担当：磯貝  
coach@jaaf.or.jp



# 2018 X-RUN CHIBAクロスカントリー大会要項

## 第3回全国中学生クロスカントリー選手権大会

**主催** 日本陸上競技連盟  
**後援予定** スポーツ庁、公益財団法人日本中学校体育連盟、千葉県、千葉県教育委員会、公益財団法人千葉県体育協会、千葉市、千葉市教育委員会、毎日新聞社、スポーツニッポン新聞社  
**主管** 千葉陸上競技協会  
**協力** 東日本旅客鉄道株式会社  
**期日** 2018年2月4日(日)  
**会場** 千葉市「昭和の森」千葉市緑区土気町22 TEL：043-294-2884  
**交通機関** JR外房線土気駅南口から千葉中央バス「あすみが丘プランニューモール」行きで「昭和の森西」下車徒歩5分。又は、あすみが丘東4丁目(ホキ美術館前)で下車徒歩3分。  
[http://www.chibachuobus.co.jp/rosen/time/pdf/01\\_009\\_11.pdf](http://www.chibachuobus.co.jp/rosen/time/pdf/01_009_11.pdf)  
 (当日土気駅北口～昭和の森無料臨時バスの便有り)

**種目  
定員  
参加料**

種目	定員	参加料
U16 Boys Championship 中学生選手権 男子3km	500名	3,500円
U16 Girls Championship 中学生選手権 女子3km	500名	3,500円

**その他の  
実施種目**

種目	定員	参加料
1.5km キッズ(小学校4・5・6年)	500名	1,000円
5km 一般個人	1500名	3,500円
5km 高校生男子		
5km 高校生女子		
10km 一般個人・一般団体	1500名	4,000円
10km 高校生男子		
20km 一般個人・一般団体	500名	4,000円

※日程は参加人数により、変更となる場合がある。

**申込**

▼日本陸連HPより申込  
<http://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1218/>



第2回大会表彰(男子)



第2回大会表彰(女子)

# オトナのタイムトライアルin代々木公園

2017年8月27日（日）代々木公園陸上競技場（織田フィールド）にて、日本代表や箱根駅伝優勝メンバー等のエリートランナーがペースメイクをする市民ランナー向けトラック記録会「オトナのタイムトライアル」（OTT）を開催し、約860名のランナーに参加いただきました。今回はミドルディスタンス（中距離）をテーマに800m、1500m、3000m種目を開催。男子800m元日本記録保持者で2012ロンドンオリンピック日本代表の横田真人さんや、飛び入りで、現日本記録保持者で2016リオデジャネイロオリンピック日本代表の川元奨選手もペースメーカーとして出場しました。

「草の根レース」と「トラック“も”走ろう」を合言葉に、市民ランナーによる市民ランナーのために誕生したこの大会を、公益財団法人日本陸上競技連盟は昨年よりサポートしています。

## ■日本記録保持者や元箱根駅伝ランナーなど豪華メンバーがペースメイク

OTTは日本代表選手や箱根駅伝で活躍した豪華メンバーが各組のペースメーカーとして出場することが特徴です。

前回のOTTでは、2017ロンドン世界陸上男子50km競歩で銅メダルを獲得した小林快選手もペースメーカーとして出場し「OTTファミリー」と呼ばれるほど、毎回参加いただいております。（※今回はスケジュールが合わず欠席）

当日飛び入り参加で男子800m現日本記録保持者、2016リオデジャネイロ五輪日本代表の川元奨選手が登場。横田さんは既に引退しているのですが、誰もがもう二度と見られないと思った「横田、川元」日本中距離界2大エースの共演がOTTで再び実現しました。



男子800m日本記録保持者の川元奨選手、横田真人さんがペースメイク



## ■陸上のイメージを変えるボランティア

OTTは豪華ペースメーカーが注目されますが、もうひとつこの大会を運営するスタッフに特徴があります。

若い世代、しかもスタッフの大半が女性です。元々陸上競技をやっていた人もいれば、競技の経験はないけれど箱根駅伝を見て長距離種目に憧れを抱いた人等、きっかけは様々。大会当日は競技を運営するスタッフであり、出場する選手の背中を押す「女子マネージャー」として活躍。スタッフを募集すればすぐに定員になる状況です。全国の陸上競技の大会やマラソン大会を見渡しても、こうしたアットホームで熱気に包まれた大会は数少なく、OTTの魅力の源にもなっています。



## ■OTTの仕掛け人 西本武司さん



### OTTを始めたきっかけは？

「東京マラソン、なかなか当たらないなあ」と、仲間と話しているうちに「ならば自分たちで大会を作ってみるか」ということになりました。とはいえ、ロードレースは道路使用許可などが難しい。「トラックなら競技場を借りるだけでできるじゃないか？」ということで、箱根駅伝や陸上が好きで友人たちと集まってこれまでに観てきたさまざまなトラックレースを参考にしながら自分たちの理想の大会を思い浮かべながら作りはじめました。

### OTTを今後どうしていきたいですか？

今年の夏はロンドン世界陸上の全レースを現地で観戦しました。一番びっくりしたのは観客の応援です。陸上を観る眼が肥えているんです。眼が肥えているからこそ、応援にもメリハリがある。これからはOTTを通じて陸上競技における応援文化が育っていくようなことを取り入れていく必要があると感じています。そのためには参加者だけでなく、観戦者が増えていくような大会にしていって必要もありますね。

## ■新しい日本陸連のカタチ



実際に西本さんも「ペースメーカーとして、たくさんのトップ選手がトラックに集まってもらえるようになった」「中高生をはじめ若い選手が出てくれるようになった」と陸連が関わるようになってからの変化を語る。一方で、横田さんから「陸連控えめだね。でもそれが良いね。」の一言。

OTTは市民ランナーによる市民ランナーのために誕生した大会です。日本陸連は、本大会を運営するOTT実行委員会を陰ながら支える役に徹することが、本大会の魅力をより高めることができると考えます。OTTを通じて、日本陸連としても新しい関わり方を模索しているところです。

## ■次回OTTは千葉クロカン



※詳細は日本陸連HPをご覧ください。

# 大会観戦ガイド

いよいよ駅伝&マラソンシーズン到来！  
来年のアジア競技大会に向けて奮闘する選手たちにぜひ  
ご注目下さい！

## 第71回福岡国際マラソン選手権大会 兼ジャカルタ2018アジア競技大会 日本代表選手選考競技会 マラソングランドチャンピオンシップ シリーズ2017-2018 ～東京2020オリンピック日本代表選手 選考競技会～

男子マラソンのトップランナーが福岡に集結！  
日本代表の座を巡って、白熱の戦いを展開します。日  
本屈指の実力者たちが世界の強豪に挑みます。

▼日時：12月3日（日）12時10分スタート

▼会場（スタート・フィニッシュ）：

福岡・平和台陸上競技場

▼アクセス：

- ・福岡市地下鉄「大濠公園」、「赤坂」駅 下車徒歩8分
- ・西鉄バス「大手門・平和台陸上競技場入口」バス停  
下車徒歩5～8分

▼コース：福岡朝日国際マラソンコース（平和台陸上競  
技場・大濠公園～福岡市西南部周回～香椎折  
り返し）42.195km

▼参加標準記録：

[Aグループ] フルマラソン 2時間27分以内  
30km ロードレース 1時間35分以内  
ハーフマラソン 1時間05分以内

[Bグループ] フルマラソン 2時間35分以内

30km ロードレース 1時間45分以内

ハーフマラソン 1時間10分以内

▼テレビ放映予定：テレビ朝日系列

12月3日（日）12：00～

（テレビ朝日系列など全国29局ネット）

▼問合せ先：福岡国際マラソン事務局

（朝日新聞社西部企画事業チーム内）

TEL：092-411-1137

▼日本陸連WEB内大会ページ

<http://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1201/>  
大会公式サイト

<http://www.fukuoka-marathon.com/index.html>

## “日清食品カップ” 第20回全国小学生クロスカントリー リレー研修大会

全国から小学生の精鋭たちが大阪に集結！一生懸命走  
る金の卵たちに、大きなご声援をお願いします！

▼日時：12月10日（日）

▼会場：大阪・万博記念公園東の広場特設コース

▼アクセス：

- ・阪急線：南茨木駅、山田駅、蛍池駅
  - ・地下鉄御堂筋線（北大阪急行線）：千里中央駅
  - ・地下鉄谷町線：大日駅
  - ・京阪本線：門真市駅
- 上記駅のそれぞれから大阪モノレール「万博記念公  
園駅」もしくは「公園東口駅」

▼種目：

- ・11：30 友好タイムトライアルレース（女子）



昨年度の大会のスタートの様子



・11:40 友好タイムトライアルレース (男子)  
チーム対抗リレーに参加できなかった50チームの男女各1名が出場。

・11:50 チーム対抗クロスカンントリーリレー  
全国から50チームが参加し、6区間 (1区間1.5km) の総合タイムで順位を決定。

1・3・5区が女子選手、2・4・6区が男子選手。

▼出場チーム：各加盟団体より推薦を受けた全国47都道府県より各1チームずつ、開催地 (大阪) より3チームの合計50チームが出場。

▼問合せ：日本陸上競技連盟事務局 担当：山口・畔蒜  
TEL 03-5321-6580 / FAX 03-5321-6591

▼日本陸連WEB内大会ページ：  
<http://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1204/>

## 平成29年度全国中学校体育大会 第25回全国中学校駅伝大会

▼日時：12月17日 (日)

女子11時00分スタート

男子12時15分スタート

▼会場：滋賀県希望が丘文化公園スポーツゾーン芝生ラウンド

▼アクセス：

・JR琵琶湖線野洲駅より 近江鉄道バス・希望が丘西ゲート経由「花緑公園行」または「村田製作所行」で約10分

▼種目：

・男子の部 (6区間18km、各区間3km)  
・女子の部 (5区間12km、1・5区3km、2・3・4区2km)

▼問い合わせ先：

全中駅伝事務局 (大津市立粟津中学校内)  
TEL 077-535-9080 / FAX 077-535-9081

▼日本陸連WEB内大会ページ

<http://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1206/>  
大会公式サイト：

<http://www.zenkokuekiden-shiga.jp/index.html>



昨年度の大会の様子



昨年度の大会の様子



## JAAF SAGA 一般財団法人佐賀陸上競技協会

〒840-0852 佐賀市中折町10-18 高橋正秀様方  
TEL.0952-23-8961 FAX.0952-23-8961  
http://www.sagarikujyo.jp/

今年度小学生タレント発掘プログラムU-12育成事業の一環として第72回国民体育大会「2017笑顔つなぐえひめ国体」と第48回ジュニアオリンピック、神奈川日産スタジアムの視察研修会を行った生徒たちは初めて見る大きな大会で目を輝かせていた。

平成35年の佐賀国体に向けて少年の部の強化が国体の好成績につながるのではないかと、佐賀国体に向けて中高一貫の指導体制を確立したい。

10月22日(日)SAGASUPERGAMES2017ストリート陸上が佐賀城公園で開催される。アスリートによるデモンストレーションとアスリートと小学生による競走、陸上教室などが開催される。出場アスリートは秋本選手・藤森選手・藤光選手、障がい者アスリート山本選手・中尾選手・芦田選手の6名で最後に小学生と記念撮影があり出場小学生12名もアスリート選手の対決に頑張ってもらいたい。

## JAAF KUMAMOTO 一般財団法人熊本陸上競技協会

〒861-8046 熊本市石原2-9-1 熊本県民総合運動公園内  
TEL.096-388-1688 FAX.096-388-1688  
http://www.kumariku.org/

「感動!夢舞台!!絆をつなげ九州の地で」の大会スローガンのもと、全国各地から1866名という学年種目廃止後、過去最大の選手を迎え、第44回全日本中学校陸上競技選手権大会が8月19日から22日まで、熊本県民総合運動公園陸上競技場(えがお健康スタジアム)で開催しました。

本県は過去に日本選手権、日本ジュニア、インターハイ、国体、日本インカレと全国の主要な大会を実施しており、唯一やっていないのがこの全中でした。ところが準備半ばの昨年4月熊本地震が起きます。あの震度7は今でも思い出すと怖くなります。会場の「えがお健康スタジアム」は物資置き場と避難所になりました。また、競技場も一部は崩れ修復が必要になりました。「来年の熊本全中はできないかも」脳裏をよぎります。毎日生きていくので精一杯でした。当たり前の日常のありがたさを強く感じました。しかしながら、全国の多くの皆さんから励ましの言葉やご支援をいただきました。心底うれしかったし、ありがたかったです。全中は「全国のみなさんへの恩返し、感謝の気持ちを伝える場しよう。」と思い準備してきました。

本大会では、暑さ対策としてパークドーム熊本での待機、3ゲート(通称、金栗ゲート)からの入場(イベントプレゼンテーション)、大型映像やアナウンス(曲)の工夫、全中初の電子音ピストル発信装置の使用、ロンドン世界陸上銅メダリストの藤光謙司選手をプレゼンターとして招く。など工夫しました。暑いなかにご来場いただきました皆様にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

平成29年度全国中学校体育大会  
第44回全日本中学校陸上競技選手権大会  
実行委員会 事務局長 沢田修

## JAAF NAGASAKI 一般財団法人長崎陸上競技協会

〒854-0061 諫早市宇都町27-1  
一般社団法人 長崎県公園緑地協会管理事務所分室内  
TEL.0957-21-1921 FAX.0957-47-5411  
http://jaaf-nagasaki.net

10月6日から10日まで開催された、第72回国民体育大会「笑顔つなぐえひめ国体」において、長崎県選手団は優勝2種目を含め、男子7種目、女子3種目で入賞した。

少年男子B3000mで国体2連覇を果たしたのは、林田洋翔(瓊浦高校1年)、いわて国体では日本中学新記録で同種目優勝、7分台を狙ったが「チームながさき」を意識し栄冠を勝ち取った。

少年男子B100mでは、池田成諒(島原高校1年)が優勝。インターハイでは唯一1年生で100m、200mに出場した。国体優勝を目標に練習を積み見事成就、早くも次の目標に照準を合わせている。

3位には、成年男子800mの高木駿一(鹿屋体育大)、成年女子5000mの野上恵子(十八銀行)、少年男子A400mの松尾脩平(長崎南山高)、4位に少年女子A3000mの廣中璃莉佳(長崎商業高)がハイレベルなレースで入賞した。

2017世界陸上男子三段跳日本代表の山本凌雅(順天堂大)は成年男子走幅跳に出場し7位、8位には成年男子100mの永田駿斗(慶応義塾大)、少年男子A棒高跳の椎山隼(西海学園高)、少年女子共通1500mの柴原佑紀(長崎南高)が入った。

長崎県選手団は国体予選会後の8月と9月中旬に国体出場選手強化合宿を実施し、松元利弘専務理事強化本部長、奥浦大強化部長(長崎商業高教諭)はじめ30名の強化部員が種目別の指導と強化にあたり、ふるさと選手をはじめとする「チームながさき」の結束を図った。

開催地愛媛県松山市へも監督、コーチ、支援コーチとは別に強化部スタッフが帯同トレーナーとともに出向き選手団のサポートに徹した。

## JAAF OITA 一般財団人大分陸上競技協会

〒870-0931 大分市西浜1-1 大分市宮陸上競技場3階  
TEL.097-552-7808 FAX.097-552-7806  
http://www.d-b.ne.jp/oita-rik/

10月14日(土)に第17回大分県レディース大会が行われました。2008年大分国体の開催を機に女性審判員確保が主な目的で始まった大会ですが、今年で15年目を迎えました。レディース大会では、選手は女性のみ。審判員は基本的に女性が主任を務め男性審判員にも応援を依頼して大会を運営しています。大分国体時、女性審判員は100名ほどが登録されていて6日間の競技会の審判に携わりました。現在も約90名の女性審判員が登録されていますが、今回のレディース大会では審判員60名中女性審判員は25名でした。近年は、男性審判員のご厚意に甘えて、女性審判員の大会への参加要請を積極的に行っていないと言った反省が、今大会終了後、総務員から出ました。来年は、審判講習会などを利用して女性審判員の大会への参加を呼びかけることを確認し合いました。女性選手が競技を引退してから審判員として活躍している姿は、本大会に参加している小中高生に対してローモデルとなりうることを意識して審判業務に当たりたいと考えています。

今大会は昨年を上回る約330人の参加があり、小6年100mでは大分中央陸上の大林瑠音が12'76(+1.8)を出し、今年愛媛国体とインターハイで100m2冠に輝いた大分雄台高校の児玉芽生が持っていた大分県小学生記録を塗り替えました。他2つの県小学生記録、4つの大会新記録が誕生しました。

紙面を通じてまた本大会を紹介していけるよう、今後も女性審判員が協力し合い意義ある大会にしていきたいと考えています。

(文責:強化部長兼女性部長 羽田野明美)





事務局からのお知らせ

◆◆日本選手権リレー・ジュニアオリンピックの動画を公開中!◆◆

10月27日(金)から10月29日(日)まで、神奈川・日産スタジアムで開催された第101回日本陸上競技選手権リレー競技大会、第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会の動画を公開中です。激戦の模様をもう一度、お楽しみ下さい。

アクセスは <http://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1007/> まで



今年のジュニアオリンピック・日本選手権リレーの様子

◆◆陸上競技ルールブック2017年度版を、全国の書店、ネット書店で販売しております。◆◆

陸上競技関係者や愛好家のための2017年度版ルールブックの発売中です。

修改正のあった国際及び日本国内陸上競技ルールを反映し、すべてのルールのほか競技場の仕様、全国の公認陸上競技場一覧などを掲載しているルールブック。

お近くの書店にない場合は、電話またはホームページからもご購入いただけます。

お電話でのご注文の場合：0120-911-410 (ベースボール・マガジン社 受注センター)

※受付時間 月曜日～金曜日 10:00～12:00、13:00～16:00 (祝祭日を除く)

ホームページからご注文の場合：ベースボール・マガジン社のウェブサイトへ。

<http://bookcart.sportsclick.jp>



陸連時報編集委員

◇編集委員

横川 浩 (陸連会長)  
友永 義治 (陸連副会長)  
八木 雅夫 (陸連副会長)  
尾縣 貢 (陸連専務理事)  
伊東 浩司 (陸連強化委員長)  
風間 明 (陸連事務局長)  
早川 大介 (陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

大嶋 康弘  
◇時報編集担当  
繁田 進  
石塚 浩  
青木 和浩  
宮田 宏  
廣瀬 静香

陸連時報編集室

〒163-0717  
東京都新宿区西新宿2-7-1  
小田急第一生命ビル17階  
公益財団法人日本陸上競技連盟 内  
TEL 03-5321-6580  
FAX 03-5321-6591  
WEBサイト <http://www.jaaf.or.jp/>  
公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>